



## 2024年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月14日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス

上場取引所 東

コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	2,390	5.4	228	18.9	269	28.3	174	25.9
2023年2月期第1四半期	2,269	1.8	192	42.3	210	27.5	138	28.9

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 189百万円 (25.4%) 2023年2月期第1四半期 151百万円 (24.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	189.41	
2023年2月期第1四半期	150.41	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	5,218	2,478	45.6
2023年2月期	4,914	2,390	46.9

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 2,377百万円 2023年2月期 2,309百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期				110.00	110.00
2024年2月期					
2024年2月期(予想)				112.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	0.1	311	0.2	351	0.4	275	6.7	297.85
通期	9,220	0.3	620	1.4	715	0.3	310	4.8	335.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	953,600 株	2023年2月期	953,600 株
期末自己株式数	2024年2月期1Q	30,326 株	2023年2月期	30,326 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	923,274 株	2023年2月期1Q	923,348 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の収束に向けた動きを反映して個人消費が4四半期連続で増加するなど、経済活動の正常化が進んでいます。一方、エネルギー・食材など生活必需品の物価上昇は続いています。また、世界経済では、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、主要各国で金利が上昇するなど、国内景気に影響を与える不確定要素が多数存在しており、今後の国内景気の見通しは極めて先行き不透明となっています。

そのような環境の中、当社グループは、リユース事業で、新規出店を支える体制づくり、フードサービス事業で、モスバーガー事業の人材育成とスイーツ事業の「ショコラトリー tsumugi」のブランド力強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間は、店舗展開に増減はありません。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業97店舗、フードサービス事業29店舗、地方創生事業9施設、合計135店舗（地方創生事業9施設含む）となりました。

なお、リユース事業の店舗において、2023年5月に火災が発生し、営業を停止している店舗がありますが、火災事故により焼失した棚卸資産及び固定資産の帳簿価額は、保険金を受領できる見込みであるため、火災未決算として流動資産の「その他」に計上しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,390,899千円（対前年同四半期比5.4%増）、営業利益228,795千円（同18.9%増）、経常利益269,929千円（同28.3%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は174,877千円（同25.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

#### (リユース事業)

ハードオフ事業・ブックオフ事業では、ハードオフ本部・ブックオフ本部の経営理念を現場で行動に移し、店舗運営のスタンダードを実現できる人材育成と新規出店に取り組みました。

この結果、売上高1,742,747千円（対前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益（営業利益）323,217千円（同8.8%増）となりました。

#### (フードサービス事業)

モスバーガー事業では、店舗改装に取り組み新しいお客様のニーズに対応できるスペースづくりに取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響の受けやすいアルコール類を提供する店舗では、アルコール以外での魅力づくりに取り組みました。

この結果、売上高575,022千円（対前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益（営業利益）43,507千円（同47.2%増）となりました。

#### (地方創生事業)

新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなり、お客様にご利用頂き易い環境が整い始めましたが、世界的な資源高騰の影響を受け、エネルギーコストが増加しました。また、2024年、2025年の稼働を予定している複数の施設に対し先行投資を行いました。

この結果、売上高73,128千円（対前年同四半期比5.7%増）、セグメント損失（営業損失）42,514千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）35,894千円）となりましたが、経常損益では行政からの補助金収入及び受取負担金を営業外収益に29,314千円を計上した結果、経常損失11,789千円（前年同四半期は経常損失33,716千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて308,769千円増加し、2,509,410千円となりました。現金及び預金が194,120千円、売掛金が16,055千円、商品が35,570千円それぞれ増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5,041千円減少し、2,709,097千円となりました。有形固定資産が21,165千円減少し、投資その他の資産が17,025千円増加したことが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて303,728千円増加し、5,218,508千円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて50,301千円増加し、979,744千

円となりました。流動負債その他が83,546千円増加したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて165,425千円増加し、1,760,627千円となりました。長期借入金が167,781千円増加したことが主な要因です。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて215,726千円増加し、2,740,372千円となりました。  
(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて88,001千円増加し、2,478,136千円となりました。利益剰余金が73,317千円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月14日に公表しました「2023年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値に変更はありません。  
また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	862,341	1,056,461
売掛金	128,605	144,661
商品	1,046,280	1,081,850
その他	164,874	228,089
貸倒引当金	△1,460	△1,653
流動資産合計	2,200,641	2,509,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	848,966	826,528
その他(純額)	573,877	575,150
有形固定資産合計	1,422,843	1,401,678
無形固定資産	38,135	37,234
投資その他の資産		
差入保証金	513,952	514,261
その他	759,722	775,356
貸倒引当金	△20,515	△19,433
投資その他の資産合計	1,253,159	1,270,184
固定資産合計	2,714,139	2,709,097
資産合計	4,914,780	5,218,508
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	68,676	80,296
1年内返済予定の長期借入金	275,594	289,952
未払法人税等	131,755	72,533
その他	453,416	536,963
流動負債合計	929,443	979,744
固定負債		
長期借入金	857,550	1,025,331
退職給付に係る負債	22,611	22,789
役員退職慰労引当金	117,116	119,947
資産除去債務	431,938	432,858
関係会社事業損失引当金	5,827	5,827
その他	160,158	153,873
固定負債合計	1,595,202	1,760,627
負債合計	2,524,645	2,740,372
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	1,726,142	1,799,460
自己株式	△70,275	△70,275
株主資本合計	2,266,881	2,340,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,460	25,444
為替換算調整勘定	13,966	12,143
その他の包括利益累計額合計	42,427	37,588
非支配株主持分	80,825	100,348
純資産合計	2,390,134	2,478,136
負債純資産合計	4,914,780	5,218,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	2,269,369	2,390,899
売上原価	792,500	823,413
売上総利益	1,476,869	1,567,485
販売費及び一般管理費	1,284,381	1,338,690
営業利益	192,488	228,795
営業外収益		
不動産賃貸料	11,513	13,871
受取負担金	-	4,633
受取協力金	10,066	-
補助金収入	1,308	24,680
その他	12,589	12,166
営業外収益合計	35,476	55,352
営業外費用		
不動産賃貸原価	12,172	12,355
その他	5,337	1,862
営業外費用合計	17,509	14,217
経常利益	210,455	269,929
特別損失		
店舗閉鎖損失	-	277
特別損失合計	-	277
税金等調整前四半期純利益	210,455	269,652
法人税、住民税及び事業税	49,947	58,270
法人税等調整額	17,241	19,327
法人税等合計	67,188	77,597
四半期純利益	143,266	192,055
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,388	17,177
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,878	174,877

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	143,266	192,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,611	△3,015
為替換算調整勘定	9,490	522
その他の包括利益合計	7,879	△2,493
四半期包括利益	151,146	189,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,864	170,038
非支配株主に係る四半期包括利益	7,281	19,522

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース 事業	フードサービス 事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,661,200	539,011	69,158	2,269,369	-	2,269,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,661,200	539,011	69,158	2,269,369	-	2,269,369
セグメント利益又は損失 (△)	297,060	29,554	△35,894	290,721	△98,233	192,488

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース 事業	フードサービス 事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,742,747	575,022	73,128	2,390,899	-	2,390,899
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,742,747	575,022	73,128	2,390,899	-	2,390,899
セグメント利益又は損失 (△)	323,217	43,507	△42,514	324,209	△95,414	228,795

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 上表には含まれておりませんが、地方創生事業では、行政からの補助金収入及び受取負担金を営業外収益に29,314千円計上した結果、経常損失は11,789千円となっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。